

北区 南浜コミュニティ協議会（福祉部会）

活動名：福祉防災マップ作成事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

高齢化率が高いことから地震・津波等の災害発生時の住民の安否確認、避難誘導対策等が課題となってきている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域における要助け合い者等の状況把握及びマップの作成による可視化。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

福祉部会が中心になり、自治会ごとに福祉防災マップづくりを行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

北区社会福祉協議会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域の要助け合い者等の状況がマップによって一目瞭然となった。また、防災に関する意識が高まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

マップづくりが円滑に行えるよう区長・自治会長に事前に説明を行い、理解・協力を求めた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

年ごとに対象者等が変わることから毎年見直しを行い、マップづくりと防災に関する意識を育てていきたい。



北区 南浜地区コミュニティ協議会（福祉部会）

活動名：認知症サポート育成講座

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

高齢化が進展し、認知症高齢者等が増加する傾向の中で、見守りができる地域づくりが求められている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域全体で認知症高齢者等の見守りができるよう地域住民と南浜中学校生徒を対象に事業を行った。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

認知症サポート養成講座（会場 南浜中学校）

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

南浜中学校（地域教育コーディネーター） 北区社会福祉協議会 地域包括支援センター阿賀北

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

講座の開催によって、認知症に関する知識の習得や見守りの心構え等を学ぶことができた。また、地域における認知症に関する関心が高まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

学校、関係機関との連携を図り、実施することが適当と考え、南浜中学校・同地域教育コーディネーター、北区社会福祉協議会、地域包括支援センター阿賀北と協議しながら実施した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

年々、高齢化が進展し、認知症高齢者等がより増加すると思われるので地域での見守りが適切に行えるよう講座を継続する。



北区 濁川地区コミュニティ協議会

活動名：健康体操教室

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域住民の高齢化並びに過酷労働（主として農業）を強いられており、健康維持が大きな課題となっている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

この課題に対し、自らの努力によって健康を維持する知識の理解ならびに継続して実践できるトレーニングの普及とトレーニングの実践による効果の客観的評価の実施による啓蒙。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

専門的知識を持つコーチによる理論的講座と受講者にトレーニングを実施（トレーニングは6回）個人別に平衡感覚など医学的測定を実施、更に個人ごとにトレーニングを行い、6ヶ月後に測定をし、その成果を評価した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

北区社会福祉協議会 新潟医療福祉大学（健康科学部）

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

高齢者の健康維持、特に転倒事故に伴う傷害や寝たきりを防ぐ為、平衡感覚あるいは反射神経の機能維持に関する日常生活態度を理解できた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

トレーニングについて6回に亘り継続実施したが、参加率を高めること並びに理解度を深める為繰り返しトレーニングを実施。また6ヶ月に亘るトレーニングの臨床的データを取得した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

高齢化の課題は今後も避けることのできない点であるが、健康の維持に関する啓蒙活動を展開してゆく。受講者による2次講習の展開も検討したい。

